

1 部門目標

- ・救急科専門医が、救急外来（ER）ですべての救急患者の初期診療に対応する。
- ・内科系・外科系を問わずあらゆる救急疾患に対し適切な初期診療を提供し、他科と協力して治療にあたる。
- ・断らない救急を目標とし、千葉市の救急医療体制に貢献する。
- ・救急外来診療を通じて初期研修医教育の充実を図る。

2 業務体制・スタッフ

- ・救急科専従医：織田成人
- ・救急科スタッフ（兼任）：川名秀俊、加藤真優、廣瀬陽介
- ・非常勤医：森田泰正、高橋和香、東京ベイ浦安市川医療センターER スタッフ
- ・初期臨床研修医：1～2名

3 業務実績

救急科受け入れ患者数 1521名

帰宅 1059名

入院 363名

他院へ搬送 99名

救急搬送件数（千葉市のみ）

平成 31 年度 令和元年度

小児 1464 1525

成人 1784 2841

合計 3248 4396

4 1年間の総括

救急科立ち上げ後、2年が経過した。本年度は昨年度の5名と比較して、当院の新研修医が2名と少なく、救急外来研修のローテーションを確保するのが困難であったが、青葉病院の研修医が当院での救急外来研修を希望して来てくれたことで、昨年度並みの受け入れ実績を達成できた。また、東京ベイ浦安市川医療センターの救急科から、ER業務を担当している救急科専門医が週1回手伝いに来るようになり、当院のスタッフと青葉病院救急部医師の協力を得て、昨年度と同様の受け入れ体制を確保することができた。

また、当院のER型救急外来研修の充実が口コミで広がり、病院見学に訪れる学生が増加した。今後研修医のリクルートにも有利に働くと考えられる。

5 今後の目標

- 現在は平日の日勤帯（朝 8 時～夕方 5 時）のみの対応であるが、今後は救急科専従医を増やして、ライフワークバランスを維持した上で、準夜帯や土日・休日へと徐々に稼働時間を拡大していく。
- 院内で発生した救急事案に対して、救急科主導の MET チームによる院内急変対応システムを導入する。
- 現在、専従医のいない ICU を、集中治療に精通した救急科専門医が管理運営できるようにする。